

丸山ダム 掘削進み下流面露わ

月刊丸山ダム

2024年
9月号

発行所
美濃市内自宅
発行者
丸山ダム愛好家
佳(よっしー)



2024年9月14日撮影

絵でみる丸山ダム



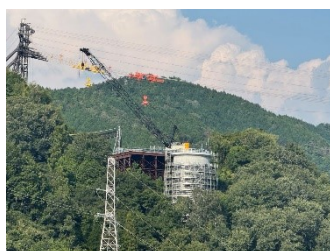
月刊丸山ダム連載企画『絵でみる丸山ダム』第60回目は木曽川と大同電力鳥瞰図に描かれた丸山ダムです。昭和12年、吉田初三郎氏によって書かれた鳥瞰図には、いまより堤高が低くゲートが沢山あり、木曽川の他のダムと同じ雰囲気を感じることができ、木曽川のシリーズダムとして計画されていたことが伺えます。

日中は気温が高いですが、朝晩は幾分過ごしやすい気候になってきた丸山ダム地方。しかし季節が進むより早く新丸山ダムの工事が進んで行くことを感じます。訪れる度に新しい発見がある新丸山ダム工事、重機の力やダムを造る人の力に感動しきりの編集長です。皆さまもぜひ！

新丸山ダム打設の準備着々と進む
新丸山ダムの初打設に向け
左岸の掘削が行われていますが、基礎岩盤らしきものが見えてきたように感じます。
新管理所等から見える掘削現場は、明らかに土ではなく岩がごつごつとしています。
いつ初打設が行われるかとても気になりますが、記念すべきその瞬間が訪れる日もそう遠くはなさそうです。打設が始まるとコンクリートに覆われて見られなくなる岩盤を今のうちにたくさん愛でておくと良さそうです。



2024年9月21日撮影



2024年9月8日撮影



2024年8月16日撮影

新丸山発電所
サージタンク成長！
新丸山ダムが完成すると水面が高くなるため、新丸山発電所も改良工事が進んでいます。今までは木々に隠れて見えなかったサージタンクがヨキヨキと成長しました。真新しいコンクリートが白く眩しく輝いています。